



全波形データ記録 航空レーザー用データレコーダー

RIEGL DR560



RIEGL DR560 は、RIEGL 航空レーザー scanner LMS-Q560、LMS-Q680 と組み合わせて、全波形分析を行う為のデジタルデータレコーダーです。

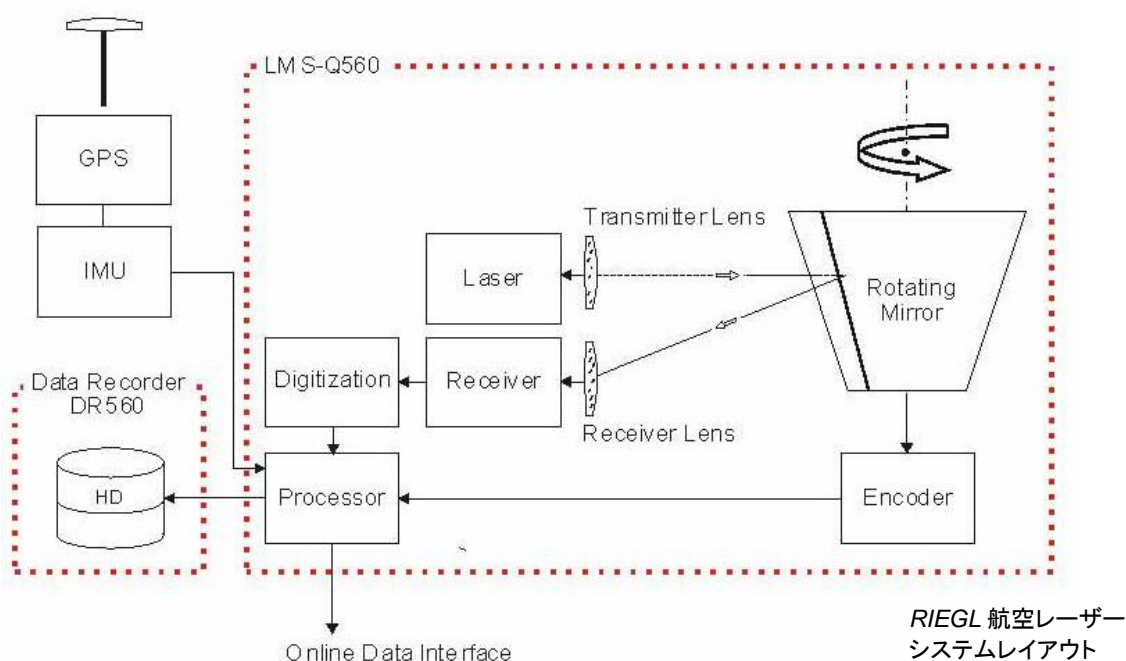
RIEGL 航空レーザー scanner は、デジタル化された全波形を提供し、高い測定周波数の生サンプルデータを出します。膨大な量のサンプルデータが作られ、非常に高いデータ出力レートでの保存が必要です。

RIEGL データレコーダー DR560 はハイパフォーマンスで異なるオペレーションモードで動作する2つのハードディスクから成り立つ信頼性の高いストレージデバイスです。

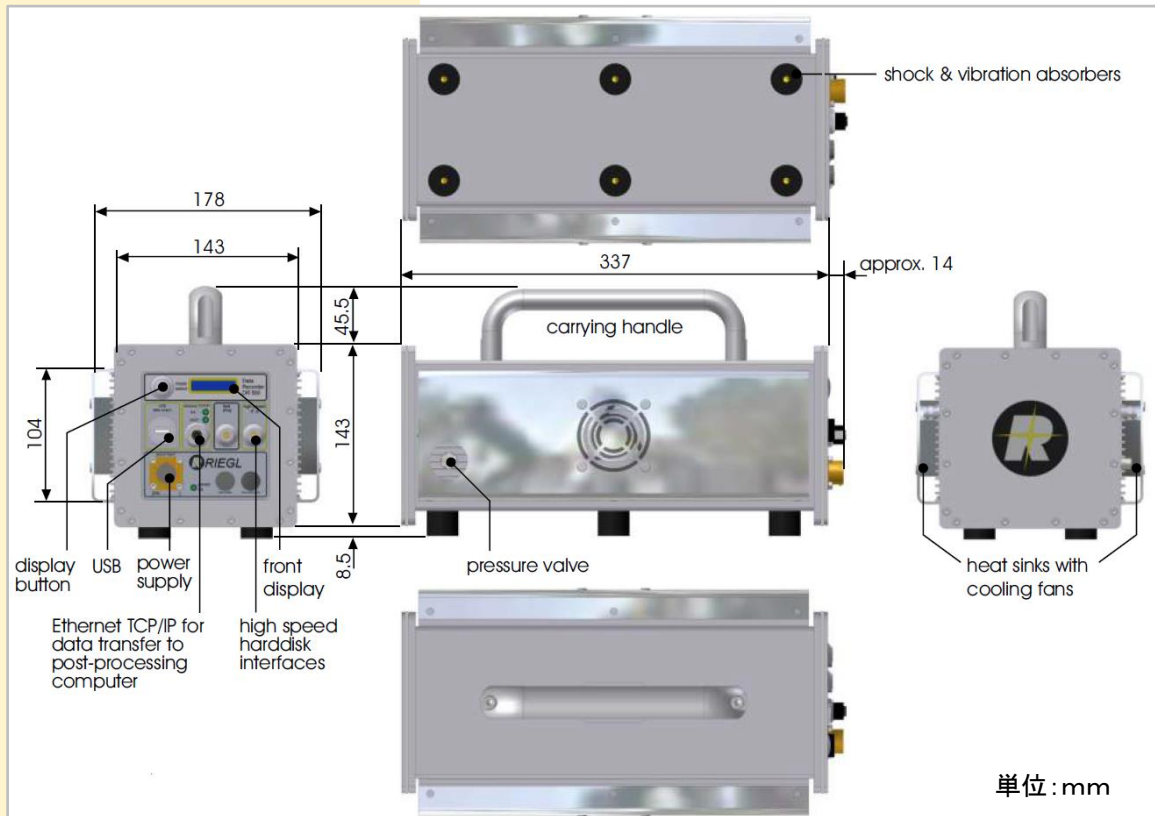
保存容量はどちらもモードに依存しており、データレートや信頼性が向上します。

特長

- ・ 高い性能と信頼性のストレージデバイス
- ・ 高高度での作動用の Pressure-sealed ハウジング
- ・ 幅広い温度範囲で作動可能
- ・ 保存容量 1,000 GByte まで
- ・ 24 時間までの航空レーザーデータのログギング容量
- ・ 入力用データレート 80 MByte/秒まで
- ・ RAID 0 ,RAID 1 をサポート
- ・ オンライン データ整合性チェック



DR560 寸法図



DR560 技術データ

データレコーダー性能

	シングルハードディスク	RAID 0	RAID 1
記憶容量	2 x 500 GByte	1000 GByte	500 GByte
データ転送レート (入力)	40 MByte/秒まで	80 MByte/秒まで	40 MByte/秒まで
ロギング容量 ¹⁾	標準 2 x 12 時間	標準 24 時間	標準 12 時間
<small>(1) LMS-Q560 のレーザーパルス繰り返し周波数 100kHz で、2つのターゲット (200Bytes/測定)、スキャン角 45° の場合。</small>			
	ウェブサーバー	USB	
データ転送レート (出力)	5 MByte/秒まで	25 MByte/秒まで	

データインターフェース

入力インターフェース
出力インターフェース

高速シリアルデータリンク
高速ユニバーサルシリアルバス 2.0

一般技術データ

電源入力
消費流
主寸法
重量
保護クラス
最大飛行高度 (作動中)
最大飛行高度 (非作動中)
温度範囲

18 - 32 VDC
約 3A@24V DC
337 x 178 x 197 mm (L x W x H)
約 7kg
IP64
基準海面より 5,000m (16,500 ft)
基準海面より 5,500m (18,000 ft)
0°C ~ +40°C (作動)
-10°C ~ +50°C (保管)